

フージャースコーポレーション(廣岡哲也社長)がさいたま市岩槻区で販売している総戸数343戸の大規模複合マンション「フェスタタウン」が好調だ。スーパーマーケットのヤオコーなどがテナントとして入った隣接の商業施設が10月1日にオープンし、10月4日から販売価格2398万円〜4028万円、最多2900万円台となる第3期87戸の販売を始めた。同社は06(平成18)年に大手企業から取得した1万5231㎡の杜宅跡地に、地上15階建て・延べ床面積4万818㎡の「フェスタタウン」を開発中。駅徒歩圏の大規模複合、坪単価130万円に設定した低価格など実需にマッチした商品企画が注目を集めている。新築マンション市況が冷え込む中、約10カ月間にわたる1、2期販売で1600組を集客、総戸数の

7割にあたる2500戸弱を販売し、これまでほぼ完売ペースが続いている。現地モデルルームによ

フージャース「フェスタタウン」 完売ペースで順調に推移

埼玉・岩槻 商業施設は先行オープン

ると、「購入層は地元需要を中心とする30代のファミリーが主体で、戸建てからの買い替えも目立っている」としている。また、

マンション供給が比較的に少なめだった岩槻駅周辺は価格調整もほとんどみられず、地域相場通りの単価設定で昨年11月に販売開始。商業施設のオープン効果で残る80戸もほぼ計画通りに販売できると同社では見ている。また、幅員拡張が計画されている駅前へ徒歩3分、竣工予定は08年11月。現地は、埼玉原さいたま市岩槻区西町2の4689の1、岩槻駅徒歩8分の立地。竣工予定は08年11月。分で直結する接道条件の向上、浦和御園から岩槻駅以遠へ地下鉄の延伸が計画されているなどの将来性も売れ行き好調の要因。



「フェスタタウン」隣接地でオープンした商業施設。初日には様々なセレモニーが行われた